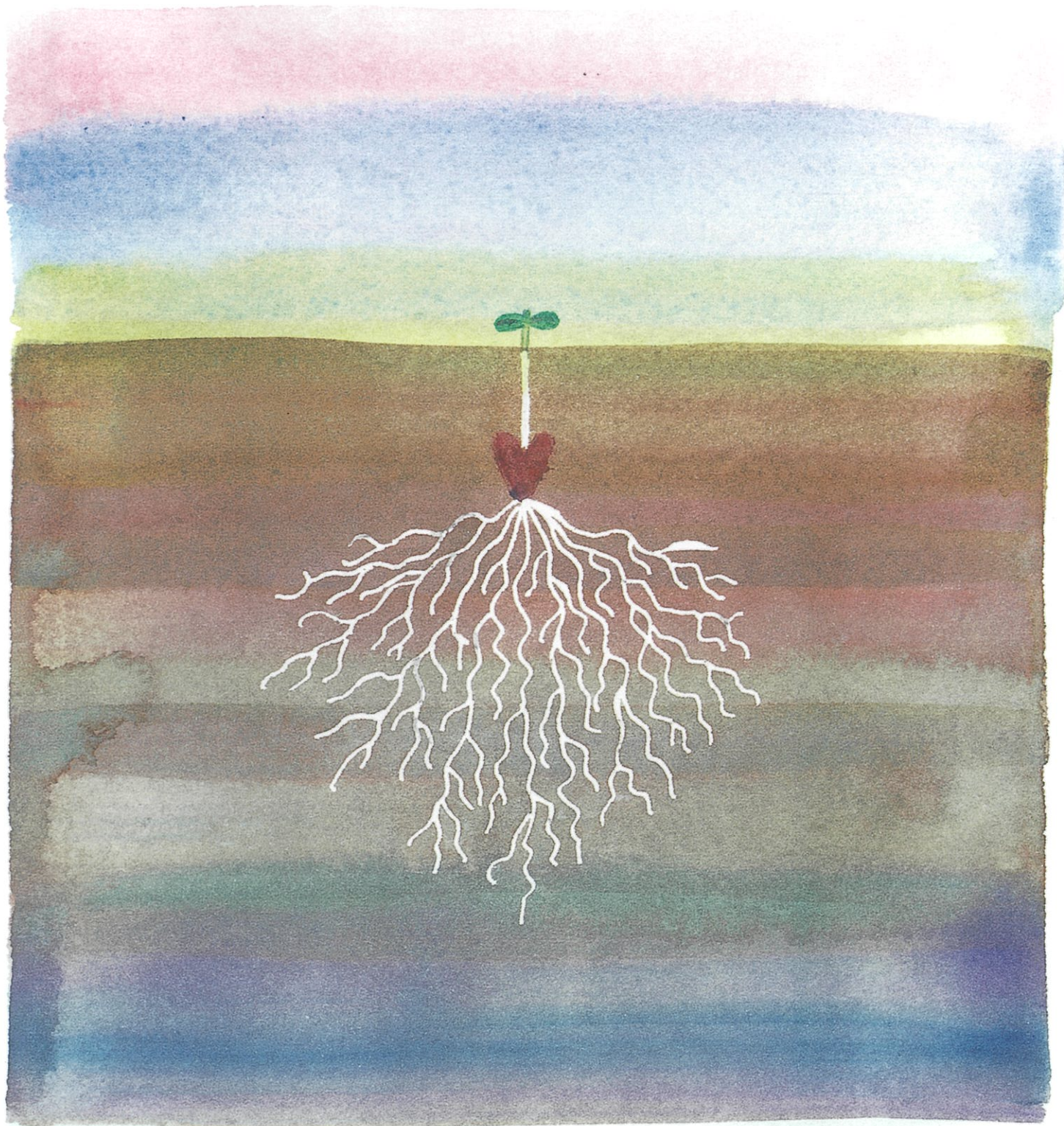


しらおか男女共生広報紙

ハーブデイ

2004.3
Vol.11

ひと ひと
～女と男をかんがえる～



WHAT IS ESSENTIAL IS INVISIBLE TO THE EYE.

John Deere

「自分らしく生きる」だれもが望むことかもしれません。自分らしくとは、女だから男だからにとらわれ
ることなく、自分が何をしたいのかを考え、目標をもって充実した毎日をおくることではないでしょうか。
「今、どう自分らしく生きているか？」みなさんととても明るくお話をいただきました。

“やらされている”ではなく “自分から楽しんで”

ながしま みちこさん（篠津在住）

少女バレーコーチは娘が小学3年生の時に始め、今年で12年目です。小学校、中学校ではPTA副会長を務めました。その他、交通指導員、主任児童委員（町内で3名！）などいろいろやっています。

性格上頼まれると引き受けてしまうんです（笑）

交通指導員として9年間登校時の児童、生徒を見守り続けています。チームの子どもの名前は呼び捨てですし、登校時の児童たちも厳しく注意します。どの場面でも自分の子どもと思って接し、自然とやっています。土日はほとんど家にいないので、家族の協力がないと続けられません。家事はやれることは分担してやってもらっています。

全部自分でやろうと思うと大変、無理せず周りの人に頼むことも必要です。

責任ある立場につけばその大変さがよくわかります。どうせやるからには、“やらされている”ではなく、“自分から楽しんでやる”が大事だと思います。

いろいろな役を経験すれば、人との輪も広がり、自分の勉強になります。自分の人生だし、自分のものにしなくては。

篠津小総合クラブ（種目：野球、バレーボール、女子ソフトボール）団員募集 連絡先 団長 野中さんTEL92-2099



主婦20年、交通指導員9年、体育指導委員5年、主任児童委員2年、青少年問題協議会委員1年、その他いろいろ活躍中。

結婚前、サッカーコーチ。 今、子育て奮闘中！

すずき ゆみこさん（上野田在住）

18歳から4年間、女子チームのコーチでした。

毎週土日、練習か試合でグランドへ。小さいころから男の子とばかり遊んでいたのが、日焼けは気になりませんでした。が、女の子同士の間人関係を理解できず戸惑いました。

発足当初で男子チームに比べ十分な練習ができなかったのが残念でした。小学4年生以下なら、多少の体力差があっても、男子女子いっしょに練習した方がよいのでは？

結婚と同時にコーチをやめ、専業主婦に

今は家事と子育て（4歳と3歳の男の子）で手一杯、サッカーどころではありません。夫は熱烈なレッズファンですが、子どもが小さいのでいっしょにスタジアムには行けません。

大宮のママさんサッカーにも行って見たのですが、小さい子どもがいては無理でした。

子どもが少し手を離れれば、また、サッカーにかかわりたいと思っています。特に子どもがサッカーをやりたいければ・・・

薔薇キッカーズ女子チーム 92-8662代表山本さん。白岡はもちろん他の市町の女子も入団可能です。現在、桶川、宮代、春日部、蓮田の団員がいます。2年連続県体出場



小学時代：地元薔薇キッカーズに入りたいがために、女子はダメ。
高校時代：女子サッカー部に入りサッカーを始めた。
大学時代：当時、薔薇キッカーズに発足した女子チームのコーチを志願。

自分らしく生きる！

多くのよき人々に めぐり逢えました

かたかわ あけみさん（高岩在住）

PTA（Parent-Teacher-Association）とは、保護者と教師の会のことです。保護者が学校に求めるものは多く、会長は学校と日々連絡を取り合っています。

素敵な出会いの場となるPTA。人と人の触れ合いの中で、時にはつらいこともあります。それ以上に得るものも多く、振り返ってみれば多くの素晴らしいかたへの感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもが小学校に入ると働き始めるお母さんが多く、役員選びには苦労しています。また、主婦のボランティアとしては、上部組織への参画には限界があると感じています。男性の参画がもっとあるといいですね。他の地域では「親父の会」を作っている学校もあり、白岡東小学校でも発足できればいいと考えています。

早く職場復帰したいと考えていたころもありましたが、最近では地域の子どもの健やかな成長を見守ることも、主婦にできる社会の一員として立派な仕事ではないかと思っています。



白岡町立白岡東小学校PTA会長4年、副会長、幹事、委員長などを歴任、通算で7年のPTA活動。

自分のやりたいこと、 保育士を目指して…

まつおか よしのりさん（上野田在住）

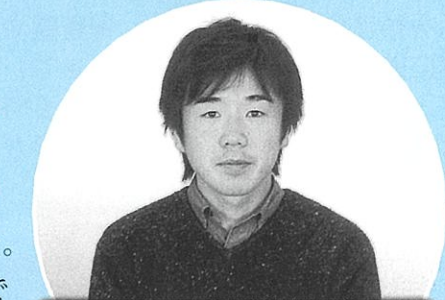
昔から子どもが好きと同時に、人とかかわりを持つのも好きでした。大学の時に保育士になる決意をしました。保育士は女性の多い職場ではありますが、そのことは全く気になりませんでした。自分のやりたいこと…ただそれだけです。

保育という仕事は自分を見つめ、自分を見直すことにもつながります。子どもはよくいろいろなものを見ているので、自分の言った一言や姿勢が、子どもに与える影響は大きいからです。

また、日常のことを楽しみながら教える仕事にも魅力を感じています。とにかく、自分のやりたいことをやってみる、だめでも再挑戦と…思いつつ、今は実習などの勉強中。

保育園か幼稚園で働きたいです。

「いつも回りに子どもが寄ってきてくれますよ…」と自然に出る言葉からも将来の保育士としての自信をうかがわせると同時に、子どもが本当に好きだということがわかります。（記者談）



4年制大学社会福祉学部卒業・社会福祉士免許取得、保育士を目指す。

多くの人にとっては、日常生活に追われてしまい、目標を持ち続けることが難しいかもしれません。しかし、少しずつでも「自分らしく生きる」ことが大切です。その道は決して簡単なものではありませんが、自らの力で切り開くことにより、社会の中で新しい自分を築く第一歩につながるのではないのでしょうか。

わたしたちは、成熟した多様な価値観を、ライフスタイルを、手に入れることができるのだろうか？（秋月邦雄）

いろいろなかたにめぐり会い、大きな影響を受け、考えさせられ、何が身についていく、そんな感覚を味わいます。（石井久美子）

初めて知ることがたくさんあった。学ぶべきこと千万無量、一知半解を恥じる。（落合利次）

ハーブティで学んだこと、考えたことを胸にいつまでも自分らしく輝いていたいと思います。（西尾順子）

今回の広報紙作成にあたり「自分らしく生きる」という意味について、あらためて考える時間を与えられたように感じました。（広瀬朱美）

表紙の絵 たかお ゆうこさん（町内在住）WHAT IS ESSENTIAL IS INVISIBLE TO THE EYE（本当に大切なものは目に見えない）

発行 白岡町広聴広報課 TEL 92-1111 内線354 FAX 92-9096 E-mail kouhou@town.shiraoka.saitama.jp
編集 しらおか男女共生広報紙編集委員会 ご意見・ご感想をお待ちしています。

アイスランド大使館に 行ってきました

2003年GEM指数が世界NO.1のアイスランド。早速お話を聞いてきました。



アイスランド大使館
インギムンドゥル シグフースソン大使

アイスランドでは、女性が出産後も働き続けるというのは当たり前で、「女は家庭、男は仕事」といった性別役割分担意識はほとんどありません。男性の育児休暇制度は2000年に始まり、権利としてもうけられているので、全ての男性が長期なり短期なり取得しているのではないかとのことです。

女性は、出産後、6か月ほど育児休暇を取り、その後は会社と勤務時間・形態について話し合い、職場復帰をします。

また、ほとんどの人が職住接近で、仕事後に育児や家事にかかわれる時間が多く取れます。だれにも子どもを預けられない場合は、保育園や幼稚園のほかに職場に連れて行けるので助かります。そして、勤務中に子どもを習いごとと一緒に連れて行ける時間も取れます。子どもを育てながら、安心して仕事ができる環境が整っているといえます。

実家や親戚、ベビーシッターや近隣の人に子どもを預け、夫婦で出かけることもよくあります。父親が子どもを連れて友だちと遊びに出かける様子も見られるとか。ほほえましいですねー。

女性の地位が向上したのは、1975年10月24日に女性全員がストライキを行ったことが発端となっており、その後、女性の大統領や市長、最高裁判長が誕生しています。しかし、待遇・昇進・賃金などの男女間の格差はまだ残っているため、女性の地位向上を目指す活動は今なお続けられています。

1980年から16年間、女性の大統領が活躍したというアイスランド。広大な温泉、シーフードなどなど大自然に恵まれたアイスランドに1度は行ってみたい。石井久美子



アイスランド大使館
園城真紀 商務官

アイスランド共和国
面積：103,000 km²
(日本の約1/3)
人口：約29万人
合計特殊出生率：1.95
(日本は1.32)



広大なスペースに広がる露天温泉風呂。温泉を利用した地熱発電も盛ん。

※ GEM：ジェンダー・エンパワーメント測定

きらっと輝いて!

わたしたちは、
子育ての応援団

保育サポート白岡
代表 待井ナオミ



保育所への送迎、病気で保育施設に行けない時の保育、保護者のかたの体調の悪い時やリフレッシュのための育児サポート等、定期的保育からちょっとしたお預かりまでしています。フレーフレーテレホンでおなじみの21世紀職業財団の保育サポーターの養成講座を受けました。現在、12人のメンバーがいます。

久しぶりの赤ちゃんのおしめ替えでドキドキしたり、2歳児とお散歩に出かけたり、子どもとのかかわりを楽しみつつやっています。「仕事が遅くなった時、保育園のお迎えを頼んで助かった。」「下の子を預かってもらったので、上の子の遠足の時、落ち着いて遊んでやれた。」という感想が励みになっています。

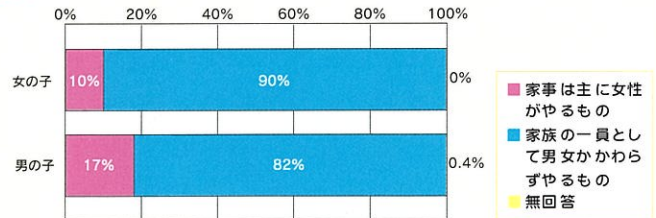
問合せ先 待井 TEL93-3582

(財)21世紀職業財団埼玉事務所

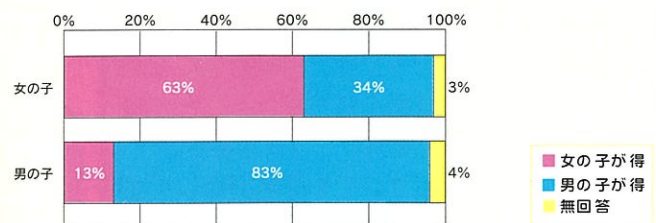
フレーフレーテレホン 048-834-2020

白岡町の小学5年生 474人に聞きました。

Q1. 家事(料理・そうじ・せんたくなど)についてどう思いますか?



Q2. 女の子と男の子、どちらが得だと思いますか?



Q3. 女の子と男の子、どちらがいばっていると思いますか?

